

2019 年 10 月 16 日

TG/322/1 2017-04-05 に準拠

ウロクロア属 (案)

(*Urochloa* P. Beauv.)

ウロクロア属審査基準

I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、イネ科 (Poaceae) ウロクロア属 (*Urochloa* P. Beauv.) のうち、ブリザンサ種(*U. brizantha* (Hochst. Ex A. Rich.) R. D. Webster), デクンベンス種(*U. decumbens* (Stapf) R. D. Webster), ディクティオネウラ種 (*U. dictyoneura* (Fig. & De Not.) Veldkamp), ヒューミディコーラ種(*U. humidicola* (Rendle) Morrone & Zuloaga), ルジジエンス種(*U. ruziziensis* (R. Germ. & C. M. Evrard) Crins), 並びに、これらの交雑種の品種に適用する。

II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 種子
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 1,000 粒
種子は、発芽率、純潔率、含水量等保存に適したものであること。
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 アポミクシス品種 点ば試験区 40 個体 (2 区以上に分割)
他家受精品種 点ば試験区 60 個体 (3 区以上に分割)
- iii) 栽培期間 1 生育周期
- iv) 調査方法
調査個体数 特に指示がない限り、アポミクシス品種の場合、個体又は個体の部分で調査する形質は植物体 20 個体又は各個体から採取した部分 20 個とする。均一性は、供試した全ての個体で調査する。
他家受精品種の場合、区別性のための調査は、個体又は個体の部分で調査する形質は植物体 60 個体又は各個体から採取した部分 60 個とする。他の調査は、供試した全ての個体で調査する。
調査時期等 特に指示がない限り、定植又は、は種後 2～3 年目の植物体の出穂が確認され、稈及び葉が十分に伸長、展開した時期に調査を行う。
- iv) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がそれに合意した場合は実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、登録出願品種審査要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

均一性の判定は、アポミクシス品種の場合、供試個体数が 40 個体の場合、許容される異型個体数は 2 である。

また、他家受精品種の場合、許容される異型個体数は、同一の種類に属する既存品種

の変異の幅との相対比較により判定する。

V. グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

- i) 葉身の毛の有無 (形質 11)
- ii) 花軸の横断面の形 (形質 15)
- iii) 開やく時の柱頭の色 (形質 19)

VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G: グループ分けに使用する形質

(*): 品種記載の国際調和のための必須調査形質

QL: 質的形質

QN: 量的形質

PQ: 擬似の質的形質

(+): VIIIに特性表の説明図等を示す

MG: 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS: 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG: 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS: 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

網掛け (特性表のピンク色の部分): 願書に添付する説明書 (種苗法施行規則第7条、別記様式第2号) に出願者が記載する特性及び階級値

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表(Table of Characteristics)

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QN (*) (+)	草姿	Plant: growth habit	草姿	観察 VG	1 3 5 7	直立 半直立 傾状 平状	erect semi erect semi prostrate prostrate	BRS Piata, CIAT BR02/1718 BRS Tupi, Llanero MIXE LN 45, Mulato II Humidicola comum	
2	2	QN (*) (+)	草丈	Plant: height	植物体中央の最長の開花 茎の穂を除く地際から止 め葉下の第1葉基部まで 伸ばした長さ	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall	BRS Tupi BRS Piata, MIXE LN 45, Mulato II CIAT BR02/1718, Xaraes	
3	3	QN (*)	ほふく枝の節間 長	Stolon: length of internode	出穂ほふく枝の節間長	測定 cm MS	1 3 5 7	無又は極短 短 中 長	absent or very short short medium long	BRS Piata, Mulato II Humidicola comum	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
4	4	QN (*) (+)	稈の節間長	Culm: length of internode	止め葉下2節目と3節目の節間長	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	BRS Tupi MIXE LN 45 Xaraes	
5	5	QN (+)	稈の直径	Culm: diameter	止め葉下2節目と3節目の節間中央部の長径	測定 mm MS	1 2 3	小 中 大	small medium large	MIXE LN 45, Mulato II	
6	6	QN (*) (+)	止め葉の葉身の曲がり	Flag leaf: curvature	最長の開花茎の止め葉の葉身の縦軸方向の曲がり	観察 VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong		
7	7	QN (*) (+)	止め葉の葉身の幅	Flag leaf: width	最長の開花茎の止め葉の葉身の最大幅	観察 VG	1 2 3	狭 中 広	narrow medium broad	BRS Piata MIXE LN 45, Mulato II	
8	8	PQ (*)	止め葉の葉しょうの毛の分布	Flag leaf: distribution of hairs on sheath	最長の開花茎の止め葉の葉しょう外面の毛の分布	観察 VG	1 2 3 4	基部 先端部 周縁部 全体	at base at apex on margins throughout	MIXE LN 45 BRS Piata, Mulato II	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9	9	QN	葉身の長さ	Leaf blade: length	止め葉下2葉目（止葉を1葉目と数えて3葉目の葉）の葉身の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	Basilisk, Humidicola comum MIXE LN 45 BRS Piata, Mulato II	
10	10	QN (*)	葉身の幅	Leaf blade: width	止め葉下2葉目の葉身の幅	測定 mm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	BRS Piata MIXE LN 45 Mulato II	
11	11	QL (*) G	葉身の毛の有無	Leaf blade: hairs	止め葉下2葉目の葉身の毛の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	BRS Tupi Mulato II	
12	12	PQ (*)	葉身の毛の分布	Leaf blade: distribution of hairs	止め葉下2葉目の葉身の毛の分布	観察 VG	1 2 3 4	表面のみ 裏面のみ 周縁のみ 両面	on upper surface only on lower surface only on margins only on both surfaces	BRS Tupi, Llanero MIXE LN 45 BRS Piata, Xaraes Mulato II, Basilisk, Kennedy, Mulato	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	QN (*)	葉しょうの毛の粗密	Leaf sheath: density of hairs	止め葉下2葉目の葉しょうの毛の粗密	観察 VG	1 2 3	無又は疎 中 密	absent or sparse medium dense	BRS Piata Mulato II, Basilisk, Kennedy, Mulato, Marandu	
14	14	QN (*) (+)	花序の中央の軸の長さ	Inflorescence: length of rachis	最長の開花茎の最基(下)部花序から頂部までの長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	Mulato II Llanero Marandu	
15	15	PQ (*) (+) G	花軸の横断面の形	Inflorescence: shape of rachis in cross section	最長の開花茎の最基(下)部花序の小穂の軸の横断面の形	観察 VG	1 2 3	三角形 翼形 三日月形	triangular winged crescent	MIXE LN 45 Mulato II BRS Piata	
16	16	QN (+)	小穂の長さ	Inflorescence: length of basal racemes	最長の開花茎の最基(下)部花序の小穂の軸の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	BRS Tupi, Humidicola comum MIXE LN 45, Mulato II Marandu	

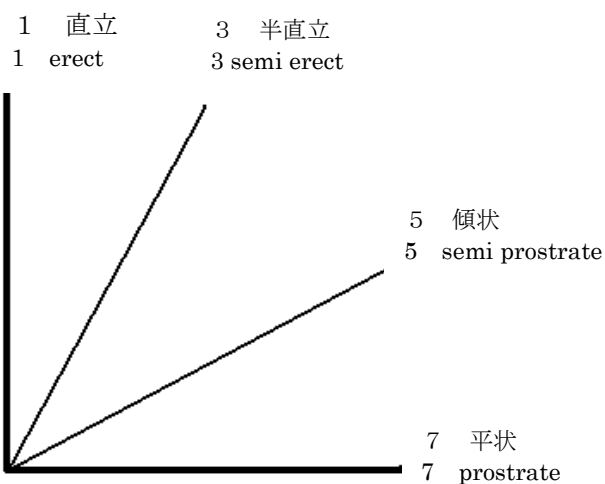
形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17	17	QN (*) (+)	花柄の長さ	Inflorescence: length of peduncle	最長の開花茎の最基(下部)の小穂の花柄の長さ	測定 mm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	Mulato II BRS Piata, MIXE LN 45	
18	18	QN (*) (+)	小穂の毛の粗密	Spikelet: pubescence	最長の開花茎の最下総状花序の中央部の小穂の毛の粗密	観察 VG	1 3 5 7	無又は極疎 疎 中 密	absent or very sparse sparse medium dense	BRS Piata Humidicola comum Mulato II, Xaraes BRS Tupi, Llanero	
19	19	PQ (*) G	柱頭の色	Flower: stigma color	最長の開花茎の開やく時の柱頭の色	観察 VG	1 2 3 4	白 淡紫 紫 濃紫	white light purple medium purple dark purple	Mulato II Llanero BRS Piata, MIXE LN 45 Marandu, Toledo	
20	20	QN	小穂の包穎のアントシアニン	Glume: anthocyanin coloration	最長の開花茎の小穂の包穎のアントシアニン着色	観察 VG	1 3 5 7	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	BRS Piata Basilisk Marandu Llanero	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	21	QN (*) (+)	出穂期	Time of inflorescence emergence	出穂期	測定 月日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late		

VIII. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 1 草姿 Char.1 Plant: growth habit

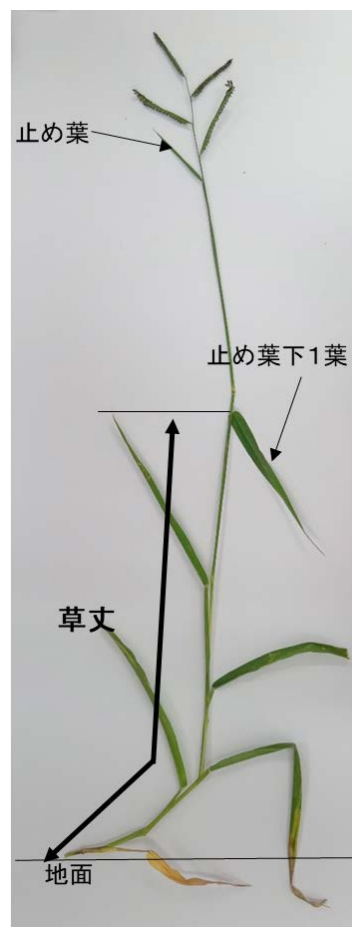
植物体の外縁部の開花茎について、地面からの立ち上がりの角度を観察する。



形質 2 草丈 Char. 2 Plant: height

植物体中央の最長の開花茎の穂を除く地際から止め葉下の第1葉基部まで伸ばした長さを測定する。

The height of the plant should be measured in the center of the plant, from the first leaf below the flag leaf to the ground level, excluding the inflorescence.



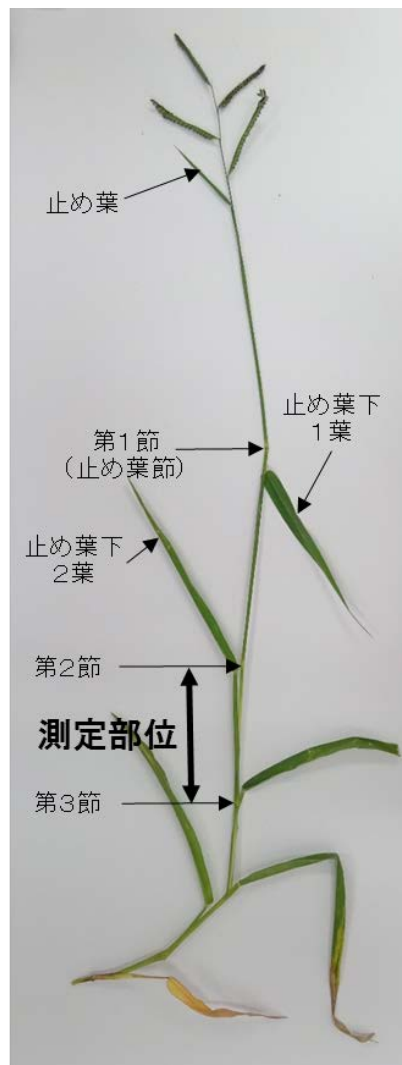
形質 4 稈の節間長

Char. 4 Culm: length of internode

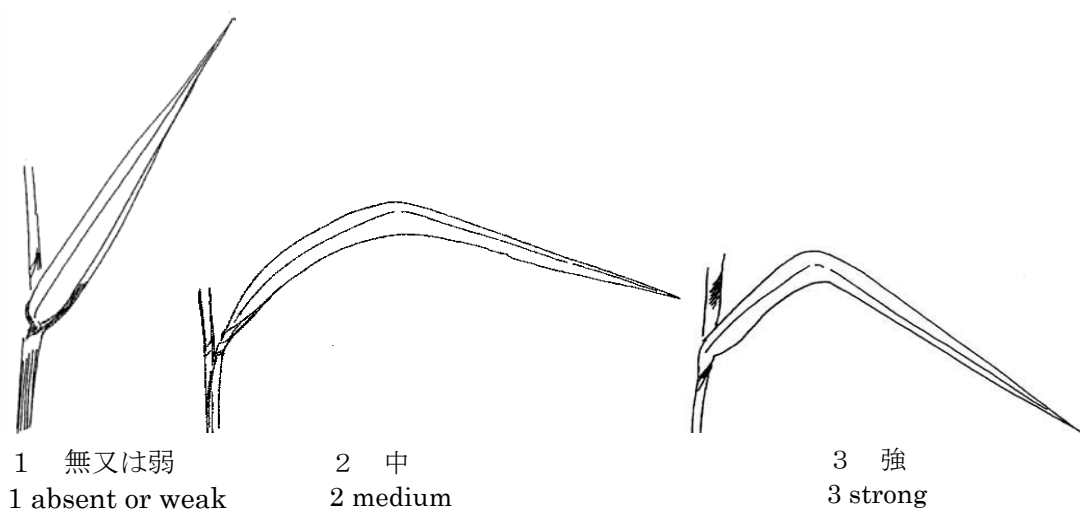
形質 5 稈の直径 Char. 5 Culm: diameter

止め葉下 2 節目と 3 節目の節間長及び葉しょうを除いた中央部の長径を測定する。

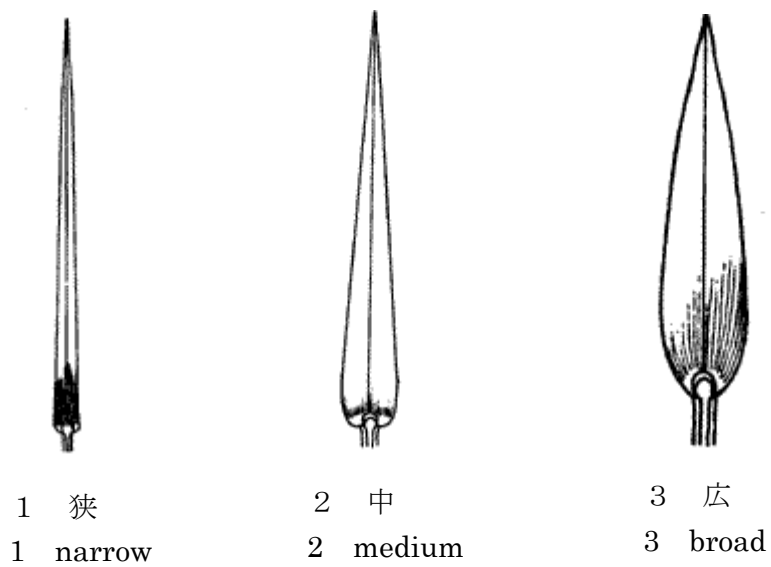
The assessment of the length of internode should be made in the middle third of plant; it does not refer to floral culm.



形質 6 止め葉の葉身の曲がり Char.6 Flag leaf: curvature



形質 7 止め葉の葉身の幅 Char. 7 Flag leaf: width

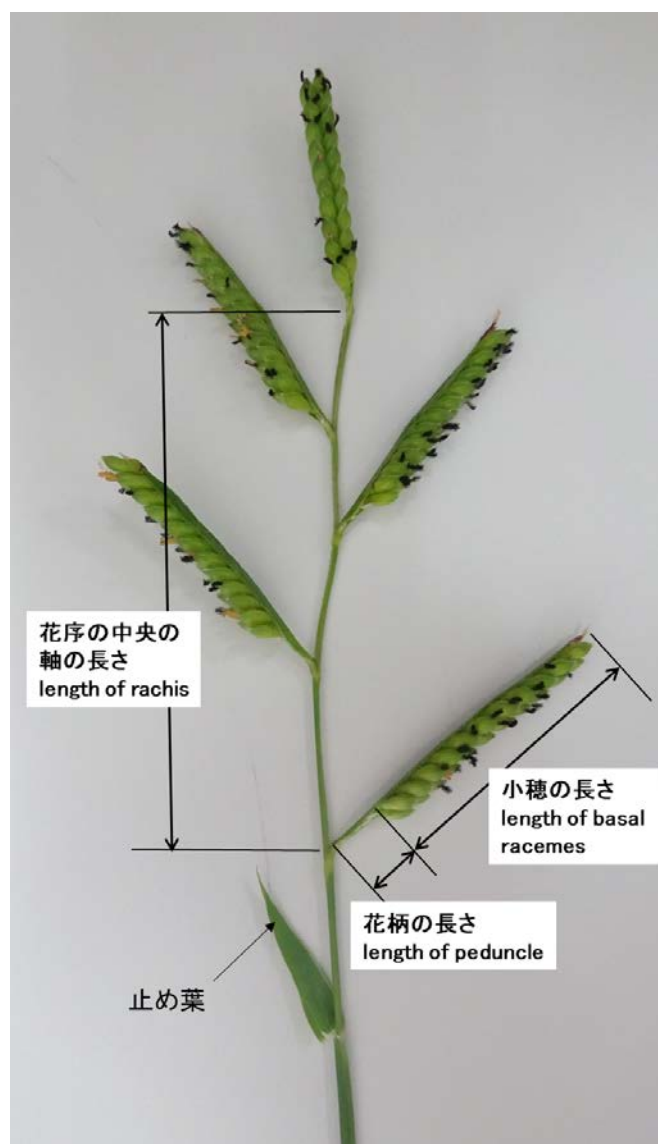


形質 14 花序の中央の軸の長さ Char.14 Inflorescence: length of rachis

形質 16 小穂の長さ Char.16 Inflorescence: length of basal racemes

形質 17 穂の花柄の長さ Char.17 Inflorescence: length of peduncle

穂の花序の小穂について、先端から正常な小花が確認できる位置までを小穂の長さ（形質 16）とし、小穂の基部の小花がない又は未熟な小花が痕跡となっている部分は穂の花柄の長さ（形質 17）に含める。穂首節は特定が困難なため、花軸の長さ（形質 14）は、最基（下）部小穂の基部からの測定とする。



形質 15 花軸の横断面の形 Char.15 Inflorescence: shape of rachis in cross section



1 三角形
1 triangular



2 翼形
2 winged



3 三日月形
3 crescent

形質 18 小穂の毛の密度 Char.18 Spikelet: pubescence



5 中



7 密

形質 21 出穂期 Char.21 Time of inflorescence emergence

出穂期は、供試個体の 50%の個体について、少なくとも 1 本の穂が完全に出穂した時とする。

The time of inflorescence emergence is reached when 50% of the plants have at least one inflorescence fully emerged.